

希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 29 年 10 月 24 日発行

第 22 号

編集発行 鈴木史良

春香クリスティーンさんのご活躍

——文部科学大臣がグローバル人材育成アンバサダーに任命——

この夏、文部科学省から『トビタテ！ 教員プロジェクト』が発表されました。これは今年度、既にスタートしている「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」の取り組みの一環として、教育の質や教師力の向上など、赴任先での教育環境の充実に資すると期待されるものです。教員の資質や意識の向上がグローバル時代を生き抜く子どもたちの能力をさらに伸ばすことにつながります。

そのグローバル人材育成アンバサダーとして、ロサンゼルス補習授業校に通った経験のあるハンマー投げの室伏広治選手と、チューリッヒ日本人学校補習校に通った春香クリスティーンさんが選ばれ、就任状が授与されました。お二人は、在外教育施設

で学んだ経験をもとに、日本人が国際社会で活躍するモデルとして、今後いろいろな活動をおこなっていくそうです。

春香クリスティーンさんといえば、今年の5月1日、日本のテレビ番組収録のために本校に来校し、昨年春香さんに手紙を書いた全日制・補習校の子どもたちと春香さんを囲んでお話する機会がありました。体育館の床に車座になって座り、子どもたちの話に熱心に耳を傾けていた姿がとても印象に残っています。

子どもたちが手紙を書いた理由は、本校30周年記念式典にこの学校の先輩としてお話を伺いたい、との思いがあったからです。そこにはスイス生まれなのに日本の古典芸能や政治、文化をよく理解し、他国で活躍する春香さんへの尊敬、憧憬に近い気持ちがありました。

残念ながら記念式典へのご参加はかないませんでした。式典では、チューリッヒ日本人学校の子供たちだけのために作成されたオリジナルのビデオ・レターを上映いたします。すでに学校に届いていますので、式典当日を楽しみにしてください。

今回のアンバサダー任命に際して、文部科学省では、春香さんがチューリッヒ日本人学校補習校に幼稚部から約11年間も在籍していたこと。自分を客観的に評価しつつも、日本のよさを理解していること。さらに、政治や行政に高い関



子どもたちと談笑する春香さん(5月)



春香クリスティーンさんの「グローバル人材育成アンバサダー」就任式の様子(文科省より)

心をもっていること等を挙げていました。スイス日本国大使館の本田大使とも、TV番組で一緒したことがあるそうです。

グローバル人材育成アンバサダーに就任するにあたって、春香さんはつぎのようなことを述べていらっしゃいます。

わたしはスイスにありますチューリッヒ日本人学校・補習校に、幼稚部から中学3年生まで、約11年間通いました。スイスに育ちながら日本との関係をもち、日本のアイデンティティーを感じていました。日本にいちばんつながった場所でもあったし、日本について興味をもてたのも日本人学校があったからです。それに私を支えてくださった教員の皆さまに出会えたこと。だからこうやって、日本に来て仕事ができているのだと思います。そういう意味でも、こういったアンバサダーに就任できたことを、とても光栄に、そしてうれしく思っています。ありがとうございました。

※春香クリスティーンさんのアンバサダー就任動画は文科省HP内の CLARINET で見ることができます。

本校出身の春香さんがグローバル人材育成アンバサダーとして活躍してくださることは、たいへん喜ばしいことだと思います。今、世界ではいろいろな悲しい出来事が起きています。本校の子どもたちも春香さんに触発され、将来は日本人として、そして地球人として、世界の人々が少しでも幸せに暮らすことができるよう、自分のよさを発揮して人々のために尽くすことができる人材になることを期待しています。

11月の主要予定

ホームページの公開はしておりません。ご了承ください。